

学校と公民館から広がる新しい地域の輪

蒲郡市府相公民館(愛知県)



①地域の方が子供たちと一緒に苗付け



②中学生が公民館の看板を制作

公民館の沿革・年表

昭和25年4月	府相公会堂（木造平屋建）を公民館に改造し、発足
昭和39年12月	竹島遊園地内に公民館を新築
昭和40年1月	開館
昭和42年11月	全国優良公民館として文部大臣賞を受賞
昭和51年	蒲郡市南部市民センターを併置
令和2年3月	蒲郡市南部市民センターを廃止
令和2年4月	竹島小学校内に移転新築

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

①「ハッピー畑」

公民館と小学校の間にある畑を、子供たちが「ハッピー畑」と名付け、地域の方と一緒に作物を育てている。

②「中学生による公民館看板制作」

公民館新築に伴い、地域の交流拠点となるシンボルとして、新しい公民館の看板を学区の中学校の美術部と連携して制作。子供たちの思いが込められた看板が取り付けられた。

公民館情報		1. 公民館対象人口	3,815人	4. 利用可能時間	9:00~21:00	
		2. 建物設置年月日	昭和25年10月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
		3. 開館日数	285日 (令和6年度)	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	128台	
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (蒲郡市府相公民館管理運営委員会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 447人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 17,119人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 7,071人 (会議・イベント等)					合計 24,637人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)					合計 4人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デイバードの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()					
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()					
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (学校の施設内に併設、学校の特別教室を共用)					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [竹島小学校、蒲郡中学校、府相地区総代会、社会福祉協議会]					

蒲郡市府相公民館

OPEN 9:00~21:00
TEL 0533-68-2705

H P <https://www.city.gamagori.lg.jp/site/husoukouminkan/>
SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・近年のライフスタイルの変化により、子供会や老人クラブ等の地域活動が減少しつつあり、市内でも地域コミュニティの希薄化が進んでいる。
- ・公民館移転を機に、学校施設内に新公民館を建築することで、「学校を核とした地域づくり」を公民館を中心にモデル的に進めることになった。その立地の強みを生かし、様々な活動が行われ、地域住民が交流する場が提供されている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【みんな集まれ！「ハッピー畠」（地域学校協働活動）】

公民館の移設に伴い生まれた学校のスペースを、公民館の利用者である地域住民が借りて畠にし、作物を作り始めた。そこから少しずつ地域住民と学校との交流が始まり、授業で地域の方が子供たちに苗の植え方を教えたり、できた作物と一緒に収穫したりするようになった。小学校では、子供たちがお世話になった地域の方を招待して、「ハッピー畠」で収穫した野菜を使った料理をふるまうパーティーを開催した。「ハッピー畠」は、毎週水曜日の午前中に自由参加で活動しており、気軽に参加できる場として地域住民同士のつながりややりがいを創出している。



「ハッピー畠」で大根の種まき

【公民館ポスター教室（放課後子ども教室）】

公民館が放課後子ども教室として「夏休みポスター教室」を主催している。学区の美術部の中学生や地域住民を講師に招き、様々な年代が集まってにぎやかに開催されている。その日の昼食は、地域住民が「ハッピー畠」で採れたじゃがいもを使用してカレーライスを作り、参加者みんなで一緒においしく食べる。この講座には中学生も積極的に参加しており、公民館と小学校を中心として、地域住民の多世代交流の場が生まれている。その他の放課後子ども教室も公民館施設を使用して行われている。



ポスター教室

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【みんな集まれ！「ハッピー畠」（地域学校協働活動）】

公民館長をはじめ、「ハッピー畠」に来ている地域住民は、公民館をよく利用する地域住民に声をかけて集まっている。公民館を拠点として活動しており、畠作業の合間には公民館で休憩したり参加者で談笑する場を提供している。「できる人ができるときに」を体現し、気軽に集まれる雰囲気づくりをしている。



公民館まつり 中学生ボランティア

【公民館ポスター教室（放課後こども教室）】

企画・宣伝や中学生との調整を、地域住民や地域学校協働活動推進員を通じて行った。普段から公民館の事業に対して中学生ボランティアを募っており、中学生が気軽に参加する姿が多くみられるようになった。

4. 取組による成果や効果

・「ハッピー畠」では、地域住民が生き生きと活動しており、子供たちも積極的に地域の方と関わるようになった。学校も授業で公民館を活用することが増え、子供と地域住民で地域防災について考える授業も行った。

・「中学生ボランティア」が、放課後子ども教室や公民館まつりで募集し、参加するようになってから、地域とかかわりに対する中学生の意識の向上が見られ、その結果、中学校で有志で「ボランティアサークル」が発足した。



蒲郡中学区学校運営協議会

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治会関係者、地区の学校長、保育園長、公民館利用団体代表者等で構成する公民館運営審議会を年間2回開催。
- 地域学校協働活動について、学区の学校運営協議会に公民館長が委員として参加、学区の教育方針や目標を共有しつつ、公民館事業にも落とし込んでいる。



地域と子どもが一緒に防災を学ぶ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

既存の地域団体やコミュニティを支援しつつ、小中学校も巻き込んだ新たな形での地域コミュニティの形成のため、公民館が交流拠点となるべく事業やイベントを企画していく。地域住民同士の顔がつながり、自助・共助の意識の広まりや地域課題の解決に向けた取組が、公民館を中心に行われるとよい。